

令和5年度 結果の分析及び今後の改善策

(中間・最終)

広南中学校区 校番 2 呉市立広南小学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
***	<p>9年間を通して、確かな学力を育成する</p>	<p>子供の問いを生かした「考える授業づくり」</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」を充実させるための授業改善</p>	<p>○学年に沿った予習のレベルを提示したことで、目指す姿がより明確になり、学年や個人に合ったレベルで取り組めるようになってきている。しかし、学年が上がるにつれて、予習を行うことで、「しっかり理解をもって授業に臨む児童」と「理解が難しい児童」との二極化が見られる。</p> <p>○授業の中で、自分の考えをもたせ、それをペアやグループ、そして全体で交流することで、自分とは異なる考えに出会い、気づき、その良さを感じることができるようになってきている。自分の考えがもちにくかったり、表現することが苦手な児童もいるが、机間指導時に声をかけたりノート等で励ましたりすることで、少しずつ自信をもつことができていると感じる。</p> <p>○活用問題テストを意識した授業づくりを行うことで数値が上がったものの、初見且つ学力テストのような形式(必要な情報を取捨選択し、読み取って、計算したり説明したりする)の問題把握に課題がある児童が多い。</p>	<p>○予習の目的として、課題解決学習だけではなく、「学び合い・教え合いの時間を増やすこと」「練習問題や活用問題の時間をしっかり確保すること」を意識した授業改善を行う。</p> <p>○今後は、自分の考えを深めるための話し合いのポイントを発達段階ごとに明確にし、さらに考えを深められるようにしていく。</p> <p>○引き続き、教科書の問題だけではなく、活用問題テストを意識した授業づくりを行ったり、ドリルタイムや広南タイムを活用して、過去問(学年や学校の課題領域)に取り組む。また、類似問題(数値が違うもの)に取り組んで、問題の形式に慣れさせる。</p>
**	<p>礼節と挑戦心を身に付け、健やかでたくましい心と体を育成する</p>	<p>基本的な生活習慣の定着</p> <p>体力の向上</p>	<p>○「5つの合言葉」を掲示するだけでなく、児童に意識させる工夫が必要であった。</p> <p>○どの項目も前回結果に比べて目標達成率が低下してしまった。中でも「早寝」の結果が悪く、睡眠時間の短さが課題となっている。また、「メディア」の時間も長くなっていることから、「早寝」に影響していることが考えられる。</p> <p>○体力テストの重点種目を再計測したため、全国平均を上回ることのできた児童が増えた。しかし、春の計測時から記録が落ちてしまった児童が多く見られたり全国平均の記録と大きく乖離している児童もいたりするなど、課題も多く残っている。</p> <p>○くれチャレンジマッチでは、5つの学年で5位以内の記録を達成することができた。強化週間を設定したことで、集中して記録を高めることができた。全体を見ると低学年の記録が伸び悩んでいるため対策が必要である。</p>	<p>○教師が児童の行動を褒める際に、合言葉と結びつけて褒めるなど、行動の価値付けがあると良い。また、各学級で目標を立てるといった工夫もしていきたい。</p> <p>○「早寝」や「メディア」に課題があることをもって周知し、「寝ること」の重要性を、継続的に啓発、指導するとともに、懇談会等で保護者にも周知する。また必要な場合は、個別に相談・指導を行う。</p> <p>○重点種目に関しては、体育科の授業の中でその種目やその動きに関わる運動を行う。また、保護者にも周知して、定期的に家庭学習としても取り入れるようにする。</p> <p>○低学年の記録が伸びていないことから、体づくり運動として遊びの中で技能を習得させたり、高学年のチャレンジマッチの様子を観察させて、こつをつかませたりする。</p>
*	<p>自己有用感を高め、活力を生み出す学校をつくる</p>	<p>異学年交流や地域との交流活動を通じた資質・能力の育成</p> <p>児童の「自分の命は自分で守る」力の育成</p>	<p>○総合的な学習や学習発表会を通して地域について学び、感謝の気持ちが強くなっている。ゲストティーチャーの方との関わりも大きかった。</p> <p>○道徳教育の充実を図ることで、児童が自分の考えや生き方を振り返ったり、将来について考えたりすることができた。</p> <p>○中学校や地域、関係機関と連携した防災教育の実施等を通して、「自分の命は自分で守る」という意識を高めることができた。</p> <p>○避難訓練や参観日等を通して、保護者と一緒に防災について学び、避難場所等の確認をすることができた。</p>	<p>○感謝の気持ちが継続するよう、また、さらに地域に貢献したいという気持ちをもつことができるように地域と関わる学習を計画していく。</p> <p>○引き続き、道徳教育の充実を図る。他教科との関連や、保護者との連携について考えていきたい。</p> <p>○避難訓練や学級指導等を通して、「自分の命は自分で守る」という思いを維持できるよう、継続して指導する。</p> <p>○継続的な防災教育と、家庭への情報発信を積極的に行い、防災意識の向上を図る。</p>
業務改善	<p>働き方改革を推進する</p>	<p>長時間勤務の削減に向けた業務改善</p>	<p>○「児童と向き合う時間の確保」、「時間外在校等時間が月45時間以内の教職員の割合」とともに、中間報告時と数値的には変わらなかった。</p> <p>○多忙な時期は放課後に時間確保することや、日々の退校時刻の声かけをすることによる効果が見られた。</p> <p>○「業務改善案」の中で、不要な物の処分と必要な物の分かりやすい整頓に取り組めた。</p>	<p>○SSSに印刷や掲示等、積極的に依頼する。</p> <p>○見直しをもった時間の使い方ができるよう声かけをしたり、サポートしたりする。</p> <p>○放課後の時間確保や退校時刻の声かけ、「業務改善案」の取組を継続する。</p>